

外郭団体ミッション遂行評価票

【平成29年度取組結果】

団体名	福岡北九州高速道路公社
-----	-------------

所管課	建築都市局 都市交通政策課
-----	---------------

<p>団体に対するミッション</p> <p>本市の区域において、指定都市高速道路の新設、改築、維持、修繕その他の管理を総合的かつ効率的に行うこと等により、交通の円滑化を図り、もって住民の福祉の増進と産業経済の発展に寄与する。 これを遂行するために、安全性を確保しつつ計画どおりの着実な償還ができるよう、利用者数の拡大に取り組む。</p>
--

<p>行財政改革大綱における見直し内容</p> <p>安全性を確保しつつ計画どおりの着実な償還ができるよう、引き続き利用者の拡大に取り組む。</p>
--

ミッションに基づく中期計画

3~5年後に目指す状態	着実な償還を推進するとともに、道路を健全な状態に維持し、お客様に安全・安心・円滑な質の高いサービスを提供する。
-------------	---

主な成果指標	年度ごとの目標及び実績（太枠は最終目標年度）						
	H28 実績	H29		H30 目標	H31 目標	H32 目標	H33 目標
		目標	実績				
交通量（台/日）	92,102	前年度の水準を維持する	92,885	前年度の水準を維持する			
緊急措置発生数（件）	0	0	0	0	0	0	0

ミッションの遂行状況の評価（平成29年度）

<p>団体における評価</p> <p>平成26年度に策定した点検計画に基づき、計画的な維持・修繕に取り組んだ。 国が定める統一的な基準に基づいた橋梁、トンネル等の近接目視点検を実施し、緊急措置段階発生件数をゼロとするなど、安全性の確保に努めた。 交通量については、対前年比0.9%の増加となった。</p>	<p>市の評価</p> <p>平成26年度に策定された計画案に基づき、計画的に点検を実施するとともに、橋梁、トンネル等の近接目視点検を適切に実施した結果、緊急措置段階発生件数をゼロとするなど、道路の安全性の確保を図っている。また利用促進にも取り組み、交通量が前年度比で増加したことも一定の評価ができる。</p>

その他～「行財政改革大綱における見直し内容」の取組み状況

見直しの分類	－
<p>ミッションの課題と同様、今後、橋梁、トンネル等の道路構造物が高齢化していくことを踏まえ、5年に1回の頻度で近接目視点検を確実に実施することで、道路の安全性の確保に努めた。 また、利用者の拡大を図る方策として、ホームページについては、お客さまからのご意見を受け周遊観光モデルコースを新たに紹介することとした。イラスト地図については設置箇所見直しも随時見直しを行っている。また、子どもや新規免許取得者向けの冊子に都市高速の広告を掲載したり、SNS（LINE@）による情報発信を新たに開始する等により、既存顧客の確保及び新規顧客の獲得を図ってきた。</p>	